

此頃小望遠鏡で面白い星

N K 生

○ヘルクレス座 δ 二重星

赤徑17時11.7分北 $24^{\circ}56'$

位置角 210° 距離 $10''$

3.2等の黄色星と8.1等の青色星の二重星で位置は最近の測定を見ないから不正確である。3時80倍なら見える。此の重星は全く Optical pair で何等関係はなく偶然接近したに過ぎぬ。伴星は主星に漸次に接近して居る。(直線運動)

○ヘルクレス座 ρ 二重星

赤徑17時20.9分北 $37^{\circ}13'$

位置角 312° 距離4.0秒

4.5等の黄色星と5.5等の緑色星の美しい重星で二星とも同方向に動いて居るが相対的位置には殆んど差がない。2時なれば80倍は必要である。

○M7 散開星團

赤徑17時50分 南 35°

蝸座の末尾の北にある美しい星團で肉眼には銀河の輝いた部分として認め得る。数箇の星が肉眼に見える。双眼鏡及び一時でも美しい星團で3時30倍位で最も美しい星團である。蟹座のプレセープと同等なものである。

○M6 星團

赤徑17時36分 南 32°

M7を見るついでに調べなさい。肉眼でも見える。形は長く立派な星團である。

○琴座 ζ 二重星

赤徑18時42.0分 赤緯北 $37^{\circ}31'$

位置角 150° 距離 $43.7''$

4.2等の黄色星と5.5等の緑色星の二重星で一時でも見える。

○南冠座 ϵ の附近

赤徑18時54分赤緯南 38°

此の星座は星は小さいが著しい星座である。京都からは市街の燈火の爲によく見えないが此のあたりは仲々面白い所である。望遠鏡を ϵ にむけて ϵ を左上の隅に持つて來るに球狀のぼんやりしたものが見つかる。此れは Δ (ダントツ)573といふ球狀星團で1時でも見える。視野の直径30分なれば右側一星の下側に丸い星雲が見つかる。よく注意すると Δ 573 の上十分位の所で急に星が無くなり全體に暗くなつて居る。 γ の南西半度の所に望遠鏡を向けると数箇の星が認め得るのみであるが若し少し南を見ると多數の星が見える。此の所は暗黒星雲部で眼視的に認め得る最も著しい部分の一つである。視野直径2度の望遠鏡なれば著しく此の穴を認める事が出来る。

○白鳥座 β 二重星

赤徑19時27.5分赤緯北 $27^{\circ}47'$

位置角 55.7° 距離 $34.3''$

最良なる色重星の一つである。3.2等の黄色星と5.4等の青緑色星の二重星である。此の

二重星が美しくないといふ人は無いだらう。此の星は4時50倍位が最美である。良い双眼鏡で認め得る。

○山羊座 α 多重星

赤徑20時13.6分 赤緯南13°2'

○位置角291°0 距離6'16".4

3.2等と4.2等の離れた二重星で距離6'であるから通常目の人なれば肉眼で二重に見える。通常 α^1 と α^2 と呼ばれる。 α^1 には近くに9.0等星がある(位置角221°距離44.3秒) α^2 には位置角144°距離7.8秒の所に11等星がある。此れはW.ハーセルが発見したものであるが有名なレンズ製作者オルドン・クラーク氏が Dearborn 天文臺の十八時を發送する前に試験中距離1.1秒の二重星なる事を発見した。A. G. C. 12と呼ばれる。

○山羊座 β 重星

赤徑20時16.5分 赤緯南15°17'

位置角267° 距離3'25".3 3.3等; 6.2等

離れた對ではあるが伴星が淡い爲に肉眼の良い試験星である。淡い方の星は1883年 Barnard 氏により Occultation の時に重星なる事が発見されたが小望遠鏡では見えない。

○ケフェウス座 β 二重星

赤徑21時27.6分 赤緯北70°12'

位置角250°距離13.6"

3.3等と8.0等の美しい重星で伴星は非常に美しく色は青或は紫とも言える。3時80倍は必要。

○ケフェウス座 μ 赤色不規則變光星

赤徑21時41.1分 赤緯北58°25'

變光は4.0より4.8まで、不規則である。此の星はW.ハーセルによつて Garnet star と呼ばれ此の近くを見る人は特別な赤色によつてすぐ見つかる。肉眼で見える最美の赤星の一つである。望遠鏡内では餘り赤くない。

○南魚座 γ 二重星

赤徑22時48.1分 赤緯南33°18'

位置264°距離4.0"(1909, Innes)

美しい星で3時80倍でよく見える。4.5等と8.8等星の對である。

○南魚座 δ

赤徑22時51.5分 赤緯南32°58'

位置角233°距離5.0"(1909)

4.3等と9.7等の二重星で3時80倍で見にくい。

大固有運動を有する薄き赤星

ペルーのアレキパなるハーヴアード天文臺出張所に於て23年の間隔ある寫眞比較の結果18時57分41秒-13°42'.0なる16等星が225°の方向に一年に0.8秒の固有運動を有する事発見されたり。1918年に黄色スクリーンを使用して得たる寫眞によれば色指數は1等級以上なり。

H. C. O. プレテン